# 有信の墓

中仙町豊岡字八日市

推古天皇の頃、都に左近将監有信卿というすぐれた公卿がいたが、左遷されて出羽の八日市に来て住み、ここを有信の里といった。有信自ら仏経を書写して、石櫃に入れて埋めたと伝えられ、そこを有信の墓と伝えている。